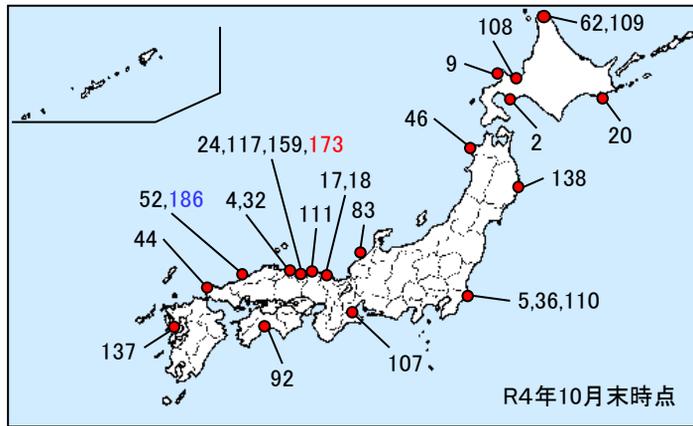


沖合底びき網漁業

(以西底びき漁業を含む)

漁業の概要

15トン以上の漁船から伸ばした曳き網に直結した袋状の漁網を曳航、または引き寄せて漁獲する。操業形態としては、「1そうびき板びき」「1そうびきかけ回し」「2そうびき」の3種があり、地域や対象魚種により異なる。



R4年10月末時点

計画数:27件(実証終了:25件、実証中:1件、実証予定:1件)

取組と成果

【生産性向上】

- 集団操業による漁場探索の効率化

【コスト削減、省力化・軽労化および安全対策、省エネ化】

- 省エネ型の船型、機関、大口径プロペラ* 等の導入により、燃油消費量を削減
- 直巻ウインチ* 等の機器導入により、省人化・省力化を図り、経費を削減
- 魚艙口を拡張してコンベアを導入し、魚艙からの荷役作業を軽労化
- ハードオーニングの設置* により作業環境を改善し、選別作業の安全確保、迅速化、精度向上を実現

※ 実証事業後、地域周囲の新船等に波及したもの

【高付加価値化・販路拡大】

- 漁船への海水冷却・滅菌装置の導入による活魚や高鮮度製品の水揚げ充実、魚体損傷の少ないコンテナバック水揚方式による漁獲物の品質向上
- 船上生パッキング製法により活ホタルイカの出荷を実現
実証事業後は「浜の活力再生プラン」を通じスーパーマーケットや生協等への販路拡大や新しい地域観光イベント「ほたるいか祭り」が誕生するなど、流通・販売・観光に波及

【作業環境、労働条件の向上】

- 船内居住・作業環境の改善や定期休漁日の設定等による労働条件の改善

今後期待される取組

- マルチビームソナー、トロールセンサーシステム等の高性能漁場探索機器の導入による操業の効率化
- 漁場や対象魚種に応じた漁法(1そうびき、2そうびき)の使い分けによる漁場選択性の向上、他漁法の導入による水揚げの安定化
- 中層・表層曳き、かけ廻しによる漁獲量の向上
- ICT技術を活用した漁場選択等の高度化
- 選別網の導入による資源管理と作業性の向上

荷役の軽労化 (コバア導入)



ハードオーニング



船上冷却装置を用いた高鮮度保持



コンテナバックによる荷揚げ



船上パッキング生ホタルイカとこれを活かした観光イベント



高性能漁場探索機器の導入

従来の魚探



マルチビームソナー

